

令和4年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立大宮中央高等学校)

S37

目指す学校像	多様な学習システムにより、生徒の可能性を伸ばすとともに、他者を尊重する精神を養い、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
--------	--

重点目標	1 様々な環境の中で生徒が主体的に学ぶ力を育成する。そのための教材を開発するなど多様な働きかけを行い、授業改善を進める。また、生徒にとって魅力ある学校づくりを進める。 2 「決意・計画・継続」を土台として、生徒の自己管理能力の向上を図り、生活マナーなど他者を尊重する態度を醸成する。また、自己の可能性を発見し、社会で生きていく力をさらに伸張するためのサポートを行う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	18名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(令和5年2月1日現在)			
年度目標					年度評価(令和5年2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度		
1	【通信制の課程】 ①生徒は意欲的に学習に取り組むが、一人一人様々な背景があり、困難を感じる生徒も存在する。 ②生徒の進路実現に向けて外部機関との連携を図り、更に魅力ある学校づくりを進める必要がある。	①生徒が意欲的かつ効果的に学習できるよう、ICTの活用も含め指導方法を工夫する。 ②生徒の進路意識の向上を目指す取り組みを行う。	【通信制の課程】 ①生徒の主体的な学習活動に向けて、レポート・授業改善の他、ICT活用を推進する。 ②学習サポーターを活用する他、ハローワークなどの外部機関と連携し充実した進路指導を行う。	○学習手帳の他、学習・受講ガイドの活用状況 ○外部機関との連携状況 ○ICTを活用した授業改善の推進状況 ○生徒の学力の伸長状況 ○単位修得状況 ○進路実績・高校卒業に向けた生徒の取組状況とその満足度	【通信制の課程】 ①主体的な学習活動に向け、学習手帳の活用状況100%を達成した。(前年度90.7%) ②外部の教育力の積極的活用として、学習サポーターが79日来校した。	A	①大きく前進したICT教育体制のもと新教育課程に対応したレポート、スクーリング、テストを再検証・改善する。 ②外部教育力を有効に活用するために、次年度、計画、運営の他、広報を行う。	
	【単位制による通信制の課程】 ①ICTの有効活用や外部の教育力の活用により、生徒の学習活動を一層充実させる必要がある。 ②生徒の進路意識向上のため、外部からの支援も含めた指導の充実が求められる。		【単位制による通信制の課程】 ①Google Classroom等ICTを活用した学習指導を実践する他、学習サポーターを有効活用する。 ②就職支援アドバイザーを有効活用し、求められる進路情報を生徒に提供する。		【単位制による通信制の課程】 ①ICTの活用が大幅に進展し、スクーリングのリアルタイム発信等、情報提供・情報共有が充実した。 ②就職支援アドバイザーの支援による進路指導が、本年度も有効に機能した。			【単位制による通信制の課程】 ①ICTによる生徒支援が充実したため、学習サポーターの運用は見直す必要がある。 ②次年度も引き続き就職支援アドバイザーに協力頂き、進路指導の充実を図る。
	【単位制による定時制の課程】 ①個々の生徒の学習目的・理解度に応じたきめ細かな指導を充実させ、学力向上を図る必要がある。 ②個々の生徒の実情に合った指導を充実させ、生徒の進路意識の向上と主体性の育成を図る必要がある。		【単位制による定時制の課程】 ①多様な講座を開設しCOVID-19対応などの社会的要請にも応え本課程の持続可能性を高める。 ②進路説明会・ガイダンスの開催、適切な資料提供など、きめ細かな進路指導を行う。		【単位制による定時制の課程】 ①授業でのICT活用が広げ、適切なCOVID-19対応をとおして生徒の学習活動を支援した。 ②進路ガイダンスや面接指導等を実施し、生徒個々の様々な進路希望に対応した。			【単位制による定時制の課程】 ①ICTの授業内での活用について、事例共有等を行いながら、引き続き充実を図る。 ②進路ガイダンス、面接指導の他、教育相談の活用により、更に個に応じた指導の充実を図る。
2	【通信制の課程】 ①丁寧な生活指導をとおして自己管理能力、他者を尊重する態度を醸成させる必要がある。 ②コロナ禍での心のケアが必要であり、個に応じた教育相談体制を充実させる必要がある。	①生徒の規範意識を高めるとともに、他者を尊重する姿勢を醸成する。 ②適切な情報発信と、きめ細やかな指導を充実させる。	【通信制の課程】 ①スクーリング時の巡回指導、丁寧な声掛けをとおして自己管理能力、規範意識を高める。 ②登校日を活かして積極的に生徒理解に努め、教育相談室・教育相談窓口の周知・活用を進める。	○マナーを守り、けじめを持った学校生活の状況 ○教育相談室の積極的なPRとその活用状況 ○学校案内やホームページなどを活用した積極的な情報発信の状況 ○生徒との信頼関係のもとでの指導状況 ○生徒の実態把握に基づいた適切な対応の状況	【通信制の課程】 ①他課所・機関と綿密に連携・情報共有し積極的な教育相談の活用をとおして指導した。 ②学校生活に関するアンケート等を実施し、その結果を活用した。	A	①登校時にあらゆる機会を捉えて、生徒への丁寧な声かけ、観察等を継続すること。貴重なことである。 ②更なる自己管理能力、規範意識の向上に向けて、継続的に指導する。	
	【単位制による通信制の課程】 ①COVID-19感染症に係る様々な影響がある中、ますます心のケアが重要である。 ②ICTを活用した効果的な情報発信を充実させる必要がある。		【単位制による通信制の課程】 ①教育相談員等の協力のもと教育相談体制を充実させる。 ②HPの他Google ClassroomなどICTを活用した学校説明会や情報発信を実践する。		【単位制による通信制の課程】 ①教育相談員等を活用し、効果的な教育相談体制を確立した。 ②ICTを活用した学校説明会等により、志願者・関係者に適切な情報を適宜提供できた。			【単位制による通信制の課程】 ①教育相談にもICTを活用する体制を模索する。 ②HP、Google Classroom・Meet等を組み合わせたハイブリッドな情報提供を研究する。
	【単位制による定時制の課程】 ①安心・安全な学習環境は確立されているが、更なる規範意識の醸成と学習意欲の向上に向け、より共通認識をもった指導が重要である。 ②教育相談体制の整備により、様々な背景を持つ生徒への支援をさらに充実させる必要がある。		【単位制による定時制の課程】 ①挨拶・声掛けによる生徒理解と関係の構築により信頼関係に基づいた指導を行う。 ②アンケートなどにより実態把握に努め関係職員との情報共有をとおして様々な生徒の悩みや不安に対応する。		【単位制による定時制の課程】 ①毎日の登校指導や1日5回の巡回指導の声掛けで生徒との信頼関係を構築する他、教育相談を積極的に活用した。 ②学校生活に関するアンケート等を実施し、その結果を活用した。			【単位制による定時制の課程】 ①引き続き組織的な取組により、信頼関係の構築を図る。 ②ICTを活用しアンケートの実施・集計・情報共有をスムーズに行い、様々な課題に適切・迅速に対応できる体制を構築する。

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月4日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>○ICT整備・活用の推進に関して大きく前進している様子であるが、学校自己評価システムシートに具体例を記載することで、よりわかりやすくなる。 ○タブレット端末の保護者負担による購入には、購入できない御家庭もあるだろうことから、学習活動に格差を生むことのないよう慎重に取り組むべきである。 ○学校説明会開催の知らせが少々遅いので、中学校に情報が入っていないことがある。早い内に周知することで、より多くの皆様に参加できるようになる。 ○COVID-19対策に関して、政府の方針が変わりつつある中、丁寧な対応が見られることは、素晴らしいと思う。 ○冷房機が設置されていない教室もあることは、教育環境整備の観点から望ましくない。教育委員会の予算等、公費負担で冷房機設置を進めてもらいたい。 ○生徒が自分の授業を自分で決定し、勉強ばかりでなく思う存分学生生活を送ることができるのは、貴重なことである。 ○自分達で考えて活動する生徒会の取組を、生徒が嬉しそうに話している様子を見ると、学校の良さがわかる。 ○授業の多くが、生徒に寄り添った興味深い内容で展開されている。しかしながら、授業を選択する際に情報が少ないので、どのような授業内容になるのかを明示してもらえると有難い。 ○生徒が自ら学校生活の楽しさを先生方や保護者・関係者に話してくれる、この学校評議員会・学校評価懇話会はとても良い機会であると感じられる。こうした機会は、もっと増やしたい。</p>	